

## 1 産地の概要

- <対象地域> 香取郡多古町
- <対象品目> やまといも
- <産地の現状・課題>

- ・生産者は64戸(H24)から55戸(H29)に減少しているが、栽培面積の減少は171ha(H24)から168ha(H29)とわずかであり、1経営体あたりの栽培面積が増加している。
- ・70才以上で後継者がいない生産者の面積は、全体の13.7%に当たる23haを占めており(H29)、今後、産地を維持発展させるためには担い手の規模拡大、品質向上による収益の確保が必要である。
- ・また、やまといもは灌水や収穫作業等で手作業が多い品目のため、作業の効率化が必要である。

## 2 検討体制

### <多古町やまといも革新協議会構成員と役割>

- ・JAかとり多古町園芸部大和芋部会 (役割: 検証、新たな営農技術体系の検討)
- ・ヤンマー (役割: 機械の開発改良)
- ・JAかとり多古経済センター(旧JA多古町) (役割: 機械の実演・展示会の開催)
- ・多古町 (役割: 事業の実施に係る支援)
- ・香取農業事務所 (役割: 全体のコーディネート)



現地検討会の様子



計画検討会の様子

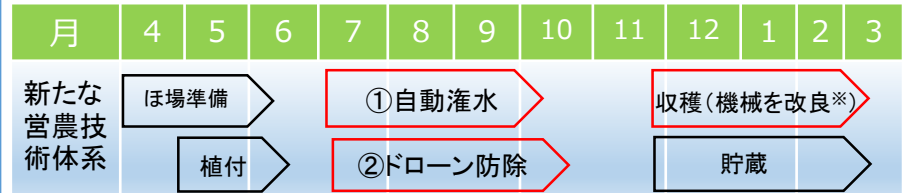
## 3 新たな営農技術体系への転換

### <目指す産地像>

自動灌水技術等の効率化・省力化技術により、少数の担い手で栽培面積の維持が可能な産地



- ①灌水技術 → 自動灌水機械導入
- ②防除技術 → ドローン導入
- ※第2段階 収穫機改善と導入



### <新たな営農技術体系の効果(検証結果)>

- ・灌水 【現状】手動灌水 105時間/ha → 自動灌水4時間/ha **約9割↓**
- ・防除時間 【現状】動噴:90時間/ha → ドローン:10時間/ha **約9割↓**

### <新たな営農技術体系の今後の取組内容>

